

# 衆議院安全保障委員会ニュース

平成 30. 11. 29 第 197 回国会第 4 号

11 月 29 日（木）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 国の安全保障に関する件

- ・陸上自衛隊饗庭野演習場の実情調査のため視察を行った委員を代表して、岸委員長から報告を聴取しました。
- ・河野外務大臣、岩屋防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中谷元君（自民）

- ・サイバー攻撃のうち武力の行使、敵対行為又は戦争行為と解される例、我が国が大規模なサイバー攻撃を受けた時にどのような事態が起きれば国家としての戦争行為又は武力攻撃事態とみなされ自衛権が発動されるのか、特定のサイバー攻撃が戦闘行為と認定された場合、自衛隊は何を行い、また、米軍は何を行うのかについて、岩屋防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・北朝鮮のミサイルが同時に多数飛来する場合、日米間でどのような役割分担で対応するのか、また、将来的に米国との共同の統合防空ミサイル防衛（I AMD）をクロス・ドメインによってどのように進めていこうと考えているのか、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・相手国が武力行使の新 3 要件に該当する攻撃に着手した場合には、相手国のミサイル基地、戦闘機及び船舶を我が国が攻撃することは可能と考えるが、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。

### 高村正大君（自民）

- ・陸海空の自衛官の定員が充足できていない現状で、業務に支障はないのか、支障がないのであれば、定員数が多すぎるということではないのか、防衛省の見解を伺いたい。
- ・自衛官候補生として内定しても警察官や消防士を選択する人が多いのは、自衛官候補生の初任給がこれらの職業に比べて安いからであると考えているが、自衛官候補生の初任給を引き上げることで採用者数を増やす必要があるのではないか、防衛省の見解を伺いたい。
- ・自衛官の定員の充足率を上げるための初任給の引上げに向けた岩屋防衛大臣の意気込みを伺いたい。

### 本多平直君（立憲）

- ・北朝鮮の核・ミサイル問題や日中関係の改善により、この 1 年で我が国を取り巻く安全保障環境は一定の変化が

あったにもかかわらず、岩屋防衛大臣が本委員会の所信表明において「従前想定していたよりも格段に速いスピードで厳しさと不確実性を増しております」と発言したことに違和感を覚えるが、そのように評価した理由を岩屋防衛大臣に伺いたい。

- ・我が国を取り巻く安全保障環境に改善がみられることを踏まえ、費用や配備予定地に関して様々な問題を抱えるイーゼス・アショアを拙速に導入するのではなく、イーゼス艦の増隻等を含め、ミサイル防衛体制を再検討すべきと考えるが、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・護衛艦「いずも」の空母化が防衛省内で検討されているが、現在、当該護衛艦は潜水艦の警戒監視などを担っており、空母化することによってこれらの能力が低下するのではないか、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。

### 渡辺周君（国民）

- ・民間機パイロットの操縦前の飲酒が社会問題になっていることを踏まえ、自衛隊パイロットへの操縦前の客観的なアルコール検査が必要であると考えているが、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・報道されている護衛艦「いずも」の改修に関し、改修の目的及び F-35B の搭載予定の有無について、岩屋防衛大臣に伺いたい。
- ・不法に占拠されている北方四島の返還を求めるとする従来の政府方針に変更はないか、河野外務大臣の見解を伺いたい。

### 広田一君（無会）

- ・自衛官の募集事務活動に当たる地方協力本部の役割は、自衛隊の精強性を維持していく上で重要であるが、定員を超えて配置された自衛官による勤務が常態化していることに対し、どのような取組を行っているのか、また、この問題を改善していく決意があるのか、防衛省に伺いたい。
- ・専守防衛とは、「相手から武力攻撃を受けたときに初め

て防衛力を行使する」ものであるが、武力行使の新3要件で定める「明白な危険」は、いまだ我が国に対する武力攻撃が行われていない状況であり、その事態において自衛権を行使するのは専守防衛を逸脱するものであることから、同要件に基づいて武力行使をするのであれば、専守防衛を再定義する必要があるのではないか、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。

### **赤嶺政賢君（共産）**

- ・沖縄県石垣市における陸上自衛隊の駐屯地建設において、工事の前提となる環境調査が終わっていないにもかかわらず、造成工事のための手続きに着手することは乱暴なやり方であると考えて、防衛省が当該駐屯地建設の工事の着手を急ぐ理由について説明願いたい。
- ・国民保護が十分になされないまま離島奪回作戦が行われた場合、沖縄住民を巻き込む地上戦に発展した第二次世界大戦時の沖縄戦の再来になると考えるが、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・辺野古新基地建設について、辺野古沖に軟弱地盤が見つかるなど埋立承認から状況が大きく変わっているため、防衛省は当該工事に係る工期や費用について、今後の見通しを示すべきと考えるが、防衛省の見解を伺いたい。

### **下地幹郎君（維新）**

- ・日米同盟に基づく日米共同訓練を推進していくことが重要と考えるが、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・中国軍が宮古島と石垣島の間を通過して太平洋に盛んに出ていく現状において、太平洋における航空優勢を守るためにも、いずも型護衛艦に短距離離陸垂直着陸型戦闘機を搭載できるよう改修する必要があると考えるが、当該護衛艦についてそのような改修が可能か、防衛省の見解を伺いたい。
- ・12月1日のブエノスアイレスで開催される日露首脳会

談において、日露間の平和条約締結交渉に関し、「特別な交渉の枠組み」の設置について協議されるとのことであるが、当該枠組みの担当者がどのようなメンバーになるのか、河野外務大臣に伺いたい。

### **照屋寛徳君（社民）**

- ・嘉手納飛行場周辺の騒音コンターの見直し作業に当たっては、住宅防音工事の対象を拡大することを前提として実施すべきと考えるが、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・普天間飛行場の周辺では、オスプレイ配備による低周波騒音の被害も指摘されており、同飛行場の5年以内の運用停止が反故にされる中、住宅防音工事の対象の拡大を前提に、低周波騒音も反映させた騒音コンターの見直し作業に着手すべきと考えるが、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・嘉手納飛行場周辺自治体による連絡協議会の調査で、同飛行場を離着陸する飛行機の飛行経路が明らかになり、周辺地域の爆音被害が激化していることが裏付けられたが、岩屋防衛大臣の見解を伺いたい。

### **長島昭久君（未来）**

- ・三菱重工業に対し旧朝鮮半島出身労働者（いわゆる徴用工）への賠償の支払いを命じた本日の韓国大法院判決について、河野外務大臣の所感を伺いたい。
- ・いわゆる徴用工問題に関し、過去に外務省は個人の請求権自体は消滅していない旨答弁しているが、それでも我が国政府が完全かつ最終的に同問題が解決したと言い切る根拠は何か、外務省に伺いたい。
- ・同問題について、同様の判決が繰り返されないためにも、我が国は韓国に対して日韓請求権協定に基づいて仲裁委員会の開催を求めていくべきと考えるが、河野外務大臣の見解を伺いたい。